

令和元年度一般会計決算

○決算の概要

高座清掃施設組合（以下「組合」という。）は、海老名市、座間市及び綾瀬市（以下「構成市」という。）から排出される一般廃棄物の中間処理を広域で行うことを目的として設立され、運営経費は構成市からの分担金によります。

処理施設の老朽化に伴い平成25年度に水処理施設（し尿処理施設）、平成30年度にじん芥処理施設（高効率ごみ発電施設、マテリアルリサイクル施設）を更新しました。

更新したじん芥処理施設等の維持管理は、令和元年度から20年間、SPC（特別目的会社）による維持管理として管理機能を移行しました。

併せて、組合と組合周辺環境の調和を目的とする本郷ふれあい公園整備事業を遂行しており、令和元年度に本郷ふれあい公園（第一工区）が供用開始となり、引き続き第二工区に取り組みます。

令和元年度一般会計決算額は、歳入総額が28億8,143万5,119円、歳出総額が23億246万2,736円となりました。

歳入歳出差引額は5億7,897万2,383円となり、翌年度へ繰り越すべき財源を控除した実質収支額は5億662万6,383円となりました。

前年度に対し歳入歳出決算額が減額した主な理由は、じん芥処理施設等建設事業の完了によるものです。

(単位：円)				
	令和元年度 (a)	平成30年度 (b)	年度比較 (a) - (b)	対前年度 伸率
歳入総額 (A)	2,881,435,119	11,504,123,838	△ 8,622,688,719	△ 75.0%
歳出総額 (B)	2,302,462,736	10,889,650,649	△ 8,587,187,913	△ 78.9%
差引額 (A) - (B) (C)	578,972,383	614,473,189	△ 35,500,806	△ 5.8%
翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	72,346,000	19,265,600	53,080,400	275.5%
実質収支 (C) - (D) (E)	506,626,383	595,207,589	△ 88,581,206	△ 14.9%
単年度収支 (F)	△ 88,581,206	198,194,555	△ 286,775,761	△ 144.7%
繰上償還額 (G)	0	0	0	—
実質単年度収支 (F) + (G)	△ 88,581,206	198,194,555	△ 286,775,761	△ 144.7%

○歳入決算概要

歳入決算額2,881,435,119円は、対平成30年度（以下「対前年度」という。）8,622,688,719円（75.0%）の減額となりました。

分担金1,418,747,000円は、対前年度262,523,000円（15.6%）の減額となりました。

主な理由として、運営費分担金は、平成30年度にじん芥処理施設等建設事業の完了に伴い旧施設の維持管理費が軽減されたことにより、対前年度108,214,000円（8.0%）の減額、建設費分担金は、じん芥処理施設等建設事業の完了に伴い対前年度46,706,000円（24.5%）の減額、人件費分担金は、じん芥処理施設等建設事業の完了に伴い構成市からの職員派遣が完了し対前年度32,000,000円（皆減）の減額、周辺環境整備費分担金は、本郷ふれあい公園整備事業の進捗に伴い対前年度75,603,000円（68.8%）の減額となりました。

衛生手数料457,472,250円は、構成市の事業系可燃物搬入量減少に伴い対前年度8,267,000円（1.8%）の減額となりました。

国庫支出金169,490,000円は、対前年度2,725,835,000円（94.1%）の減額となりました。

本郷ふれあい公園整備事業に充てる土木費国庫補助金（厚木飛行場周辺公園設置補助金）169,490,000円は、対前年度114,437,000円（207.9%）と事業の進捗により増額となりましたが、平成30年度にじん芥処理施設等建設事業が完了したことから、衛生費国庫補助金（厚木飛行場等周辺ごみ処理施設設置補助金）は、対前年度732,047,000円（皆減）、交付金（循環型社会形成推進交付金）は、対前年度2,108,225,000円（皆減）の減少となり、国庫支出金全体としては、減額となりました。

県支出金は、本郷ふれあい公園整備に充てる神奈川県町村自治基盤強化総合補助金17,846,000円となり、対前年度282,154,000円（94.1%）の減額となりました。

繰越金614,473,189円は、対前年度208,069,955円（51.2%）の増額となりました。

純繰越金595,207,589円は、対前年度198,194,555円（49.9%）の増額、継続費繰越金18,025,600円は、対前年度13,122,400円（267.6%）の増額、繰越明許費繰越金1,240,000円は、対前年度3,247,000円（72.4%）の減額となりました。

なお、継続費繰越金は、本郷ふれあい公園整備工事（第一工区）及び同工事施工監理業務です。繰越明許費繰越金は、本郷ふれあい公園整備に伴う電柱移設です。

諸収入62,017,198円は、対前年度32,119,059円（107.4%）の増額となりました。主な理由は、高座クリーンセンターマテリアルリサイクル施設火災に伴う火災保険金です。

組合債139,900,000円は、対前年度5,585,000,000円（97.6%）の減額となりました。

本郷ふれあい公園整備事業に充てる土木債139,900,000円は、対前年度52,300,000円（59.7%）の増額となりましたが、じん芥処理施設等建設事業完了に伴い衛生債が5,637,300,000円（皆減）したため、全体としては減額となりました。

歳入

△印 減額(単位：円)

款	当初予算額 A	補正等予算額 B	予算現額 A + B	歳入決算額 C	執行率 C / (A + B)
1. 分担金及び負担金	1,428,747,000	△ 10,000,000	1,418,747,000	1,418,747,000	100.0%
2. 使用料及び手数料	399,671,000	0	399,671,000	458,961,732	114.8%
3. 国庫支出金	169,698,000	0	169,698,000	169,490,000	99.9%
4. 県支出金	17,655,000	0	17,655,000	17,846,000	101.1%
5. 繰越金	200,000,000	414,472,600	614,472,600	614,473,189	100.0%
6. 諸収入	428,000	0	428,000	62,017,198	14,490.0%
7. 組合債	216,200,000	0	216,200,000	139,900,000	64.7%
歳入合計	2,432,399,000	404,472,600	2,836,871,600	2,881,435,119	101.6%

○歳出決算概要

歳出決算額2,302,462,736円は、対前年度8,587,187,913円（78.9%）の減額となりました。

歳出の概要としては、SPCによるじん芥処理施設等管理運営費、本郷ふれあい公園整備に伴う普通建設事業費、職員人件費、既存施設等の運営に要する物件費、処理施設更新に伴い借り入れた組合債の元利金償還に伴う公債費です。歳出の目的別考察は、次のとおりです。

議会費1,064,475円は、対前年度30,205円（2.9%）の増額となりました。支出額の主なものは、議員報酬906,795円及び議会議事録作成に伴う反訳事務（委託料）157,680円です。

総務費321,035,606円は、対前年度89,886,487円（21.9%）の減額となりました。

支出額の大半は、人件費158,313,164円となっています。その他の支出の主なものは、海老名市への交付金59,702,096円、最終処分場等土地借料34,180,766円、公用車及び電算機器等の賃借料17,773,204円です。

なお、海老名市との土地交換に伴う登記費用2,100,000円は、境界確定に時間を要したため、令和2年度へ繰越明許しています。

民生費25,760,900円は、対前年度1,797,476円（7.5%）の増額となりました。支出額の主なものは、本郷老人福祉センター指定管理料24,209,784円です。

衛生費1,367,949,616円は、対前年度8,741,108,421円（86.5%）の減額となりました。減額の主な理由としては、平成30年度にじん芥処理施設等建設事業が完了したことから8,885,843,574円が削減したことによるものです。

支出額の主なものは、人件費396,569,733円、じん芥処理施設等を管理運営するSPCへの委託料832,304,473円です。

土木費331,874,098円は、対前年度181,491,851円（120.7%）の増額となりました。

増額した理由としては、前年度からの継続事業本郷ふれあい公園（第一工区）整備工事が最終年度となり、事業の進捗により増加しました。

支出額の主なものは、本郷ふれあい公園（第一工区）整備工事306,397,620円、同工事施工監理6,912,000円です。

教育費110,062,644円は、対前年度11,119,194円（9.2%）の減額となりました。

支出額の主なものは、屋内温水プール修繕費18,282,000円、高座施設組合屋内温水プール指定管理料82,747,516円です。

なお、屋内温水プール特定天井撤去工事70,246,000円は、令和2年度へ繰越明許しています。

公債費144,715,397円は、対前年度71,606,657円（97.9%）の増額となりました。

増額した理由としては、じん芥処理施設等建設事業に伴う元利金償還が対前年度69,217,740円（228.6%）増加、本郷ふれあい公園整備に伴う元利金償還が対前年度2,388,917円（15.0%）増加したことによるものです。

歳出

△印 減額(単位：円)

款	当初予算額 A	補正等予算額 B	予算現額 A + B	歳出決算額 C	執行率 C / (A + B)
1. 議会費	1,220,000	0	1,220,000	1,064,475	87.3%
2. 総務費	364,031,000	△ 18,675,000	345,356,000	321,035,606	93.0%
3. 民生費	24,630,000	1,513,000	26,143,000	25,760,900	98.5%
4. 衛生費	1,315,222,000	103,702,000	1,418,924,000	1,367,949,616	96.4%
5. 土木費	421,966,000	19,265,600	441,231,600	331,874,098	75.2%
6. 教育費	120,435,000	70,246,000	190,681,000	110,062,644	57.7%
7. 公債費	154,895,000	0	154,895,000	144,715,397	93.4%
8. 予備費	30,000,000	228,421,000	258,421,000	0	0.0%
歳出合計	2,432,399,000	404,472,600	2,836,871,600	2,302,462,736	81.2%

決算収支(過去5年間)

(単位:円)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
歳入	3,458,981,666	6,133,422,199	8,675,694,359	11,504,123,838	2,881,435,119
1. 分担金及び負担金	2,182,984,000	2,478,690,000	2,117,803,000	1,681,270,000	1,418,747,000
2. 使用料及び手数料	406,025,380	407,702,534	445,304,815	466,327,465	458,961,732
3. 国庫支出金	173,981,000	708,482,000	1,649,971,000	2,895,325,000	169,490,000
4. 都道府県支出金	20,064,000	152,432,000	272,307,000	300,000,000	17,846,000
5. 財産収入	0	0	0	0	0
6. 繰越金	466,934,265	303,376,691	379,349,265	406,403,234	614,473,189
7. 諸収入	893,021	838,974	459,279	29,898,139	62,017,198
8. 組合債	208,100,000	2,081,900,000	3,810,500,000	5,724,900,000	139,900,000
歳出	3,155,604,975	5,754,072,934	8,269,291,125	10,889,650,649	2,302,462,736
1. 人件費	723,658,532	690,997,538	645,678,725	641,704,128	555,789,692
2. 扶助費	5,410,000	5,065,000	5,060,000	4,815,000	4,640,000
3. 公債費	129,608,490	38,773,437	31,979,014	73,108,740	144,715,397
4. 普通建設事業費	434,072,324	3,178,335,256	5,824,891,832	9,067,623,775	332,990,845
5. 災害復旧事業費	0	0	0	0	0
6. 物件費	1,022,219,110	992,933,401	994,358,178	764,876,712	1,140,201,130
7. 補助費等	103,459,528	155,556,996	123,027,172	164,819,602	67,844,172
8. 維持補修費	737,176,991	692,411,306	644,296,204	172,702,692	56,281,500

○歳出の性質別考察

1 義務的経費

義務的経費705,145,089円は、対前年度14,482,779円(2.0%)の減額となりました。主な支出は、人件費と公債費です。

(1) 人件費

人件費555,789,692円は、対前年度85,914,436円(13.4%)の減額となりました。減額の理由は、職員数の減少に伴う職員給の減額によるものです。

(2) 扶助費

扶助費4,640,000円は、対前年度175,000円(3.6%)の減額となりました。支出内容は、職員に対する児童手当です。

(3) 公債費

公債費144,715,397円は、対前年度71,606,657円(97.9%)の増額となりました。増額の理由は、じん芥処理施設等建設事業及び本郷ふれあい公園整備事業に伴う借入の償還によるものです。

2 投資的経費

投資的経費332,990,845円は全額普通建設事業費となり、対前年度8,734,632,930円(96.3%)の減額となりました。減額した理由は、前年度でじん芥処理施設等建設事業が完了したことによるものです。

3 その他

(1) 物件費

物件費1,140,201,130円は、対前年度375,324,418円(49.1%)の増額となりました。増額の理由は、じん芥処理施設等の管理運営をSPCに委託したことによるものです。

(2) 補助費等

補助費等67,844,172円は、対前年度96,975,430円(58.8%)の減額となりました。主な減額理由は、前年度公園整備に伴う海老名市水路改修完了により負担金が皆減したことによるものです。

(3) 維持補修費

維持補修費56,281,500円は、対前年度116,421,192円(67.4%)の減額となりました。減額の理由は、じん芥処理施設等が稼働し、旧第二清掃処理場等の施設修繕料が皆減したことによります。

○廃棄物等の搬入概要

令和元年度の構成市全体の人口は、令和2年3月1日現在349,356人で、対前年度2,192人（0.6%）の増加となりました。

令和元年度の構成市からのごみ搬入量75,025.79tは、対前年度47.49t（0.1%）の増量となりました。内訳は、家庭系可燃物53,545.36tが、対前年度615.43t（1.1%）の減量、事業系可燃物18,298.20tが、対前年度331.37t（1.8%）の減量、不燃物1,681.03tが、対前年度598.24t（55.2%）の増量、粗大ごみ1,501.20tが、対前年度396.05t（35.8%）の増量となりました。

また、マテリアルリサイクル施設に搬入された不燃物等搬入量（不燃物搬入量と粗大ごみ搬入量の計）3,182.23tの6.3%に相当する199.91tの非鉄金属（アルミニウム等の有価物）及び鉄分（磁性物）が資源化物として回収されました。

◎構成市の人口

区分	令和元年度	平成30年度	増 減	伸 率
海老名市	134,348人	132,892人	1,456人	1.1%
座間市	130,621人	129,929人	692人	0.5%
綾瀬市	84,387人	84,343人	44人	0.1%
計	349,356人	347,164人	2,192人	0.6%

◎ごみ搬入状況

区分	令和元年度	平成30年度	増 減	伸 率
家庭系可燃物	53,545.36t	54,160.79t	△ 615.43t	△ 1.1%
不燃物	1,681.03t	1,082.79t	598.24t	55.2%
粗大ごみ	1,501.20t	1,105.15t	396.05t	35.8%
事業系可燃物	18,298.20t	18,629.57t	△ 331.37t	△ 1.8%
計	75,025.79t	74,978.30t	47.49t	0.1%

◎し尿搬入状況

区分	令和元年度	平成30年度	増 減	伸 率
生し尿	1,514.84 t	1,612.60 k l	△ 97.76	△ 6.1%
浄化槽汚泥	8,990.89 t	9,634.00 k l	△ 643.11	△ 6.7%
計	10,505.73 t	11,246.60 k l	△ 740.87	△ 6.6%

※ 増減及び伸率について：令和元年度の数量単位をt単位としたことから、前年度までの数量単位のklとは単純比較ができず、参考値として便宜上、比重1と換算して算出した数値で記載しています。

○付帯施設の利用概要

付帯施設（余熱利用施設）である本郷老人福祉センター及び屋内温水プールは、平成18年度から指定管理者制度を導入しています。

現在の指定管理者 FunSpace・オーチャード運営企業体
指定期間 平成28年4月1日から令和3年3月31日まで

令和元年度の本郷老人福祉センターの利用者数6,650人は、対前年度806人の減少となりました。利用者内訳は、海老名市が3,477人、座間市が1,099人、綾瀬市が2,074人となりました。

令和元年度の屋内温水プールの利用者数 98,152人 は、対前年度 47,017人 の減少となりました。平成5年度に開館以来の利用者累計は、令和2年3月末日現在で3,492,168人(男性1,780,664人、女性1,711,504人)となりました。

◎本郷老人福祉センター利用状況

		令和元年度		平成30年度		利用者数比較	
		利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	増減	伸率
海老名市	男性	1,837人	128件	2,167人	146件	△ 330人	△ 15.2%
	女性	1,640人		1,899人		△ 259人	△ 13.6%
	計	3,477人		4,066人		△ 589人	△ 14.5%
座間市	男性	448人	39件	518人	48件	△ 70人	△ 13.5%
	女性	651人		755人		△ 104人	△ 13.8%
	計	1,099人		1,273人		△ 174人	△ 13.7%
綾瀬市	男性	1,006人	64件	1,038人	63件	△ 32人	△ 3.1%
	女性	1,068人		1,079人		△ 11人	△ 1.0%
	計	2,074人		2,117人		△ 43人	△ 2.0%
合計	男性	3,291人	231件	3,723人	257件	△ 432人	△ 11.6%
	女性	3,359人		3,733人		△ 374人	△ 10.0%
	計	6,650人		7,456人		△ 806人	△ 10.8%

◎屋内温水プール利用状況

区分	令和元年度	平成30年度	増 減	伸 率
男性	51,380人	75,993人	△ 24,613人	△ 32.4%
女性	46,772人	69,176人	△ 22,404人	△ 32.4%
計	98,152人	145,169人	△ 47,017人	△ 32.4%

令和2年度執行状況(令和2年9月30日現在)

歳入 (単位：円)

款	予算現額	収入済額	執行率
1. 分担金及び負担金	1,681,424,000	874,506,000	52.0%
2. 使用料及び手数料	435,181,000	152,182,980	35.0%
3. 国庫支出金	160,481,000	0	0.0%
4. 県支出金	6,336,000	0	0.0%
5. 財産収入	620,000	2,158,465	348.1%
6. 繰越金	372,346,000	578,972,383	155.5%
7. 諸収入	206,000	238,157	115.6%
8. 組合債	487,600,000	0	0.0%
歳入合計	3,144,194,000	1,608,057,985	51.1%

歳出 (単位：円)

款	予算現額	支出済額	執行率
1. 議会費	1,171,000	488,400	41.7%
2. 総務費	452,910,000	94,324,823	20.8%
3. 民生費	27,556,000	10,341,075	37.5%
4. 衛生費	1,777,713,000	408,432,372	23.0%
5. 土木費	354,718,000	1,124,441	0.3%
6. 教育費	175,738,000	106,076,935	60.4%
7. 公債費	327,798,000	126,356,583	38.5%
8. 予備費	26,590,000	0	0.0%
歳出合計	3,144,194,000	747,144,629	23.8%

令和2年度高座清掃施設組合の当初予算は、30億7,184万8千円でしたが、前年度から繰り越された繰越明許費繰越額7,234万6千円を加え、31億4,419万4千円となりました。

令和2年9月30日現在の予算現額に対する執行状況は、歳入予算について、収入済額16億805万7,985円・執行率51.1%、歳出予算について、支出済額7億4,714万4,629円・執行率23.8%となっています。

歳入の執行率が低い主な理由は、旧処理施設解体工事、周辺環境整備事業に係る国庫支出金及び組合債等は未収であり、これらの特定財源は、完了後において、実績報告等の手続きを経て入金される予定です。

歳出の執行率が低い主な理由は、じん芥処理施設等及び余熱利用施設の管理業務（SPC、指定管理者）の支払いが分割払によるほか、周辺環境整備事業に伴う用地購入の進捗によるものです。

なお、9月末における支出負担行為額は11億2,472万4,825円（執行率は35.8%）です。

財産などの状況(令和2年9月30日現在)

組合債現在高(令和2年9月30日現在) (単位：円)

区分	令和2年3月31日 現在高	令和2年4月1日～令和2年9月30日		令和2年9月30日 現在高
		借入額	元金償還額	
一般廃棄物処理事業債	9,225,049,446	0	106,182,510	9,118,866,936
じん芥処理施設建設事業	8,969,496,172	0	92,713,846	8,876,782,326
水処理施設建設事業	233,893,454	0	12,698,227	221,195,227
構内整備事業	21,659,820	0	770,437	20,889,383
一般補助施設整備等事業債	1,403,300,000	0	0	1,403,300,000
じん芥処理施設建設事業	1,403,300,000	0	0	1,403,300,000
公共事業等債	245,636,224	0	6,365,586	239,270,638
公園整備事業	245,636,224	0	6,365,586	239,270,638
一般事業債	178,879,000	0	5,714,500	173,164,500
公園整備事業	178,879,000	0	5,714,500	173,164,500
地方道路等整備事業債	20,066,000	0	717,000	19,349,000
構内整備事業	20,066,000	0	717,000	19,349,000
神奈川県市町村振興資金貸付金	981,975,820	0	0	981,975,820
じん芥処理施設建設事業	959,499,007	0	0	959,499,007
公園整備事業	14,262,248	0	0	14,262,248
構内整備事業	8,214,565	0	0	8,214,565
計	12,054,906,490	0	118,979,596	11,935,926,894

財産(令和2年9月30日現在) (単位：㎡)

区分	土地	建物(延床面積)
清掃処理場	56,871.83	33,079.77
本郷老人福祉センター	2,592.47	779.09
埋立処分地	5,137.71	453.23
本郷ふれあい公園	11,278.50	27.62
計	75,880.51	34,339.71

清掃処理場は、水処理施設、新旧じん芥処理施設、旧事務所(緩衝緑地帯を含む)、屋内温水プールの土地面積及び建物延床面積を合わせたものです。

土地は、本郷ふれあい公園の一部(4.92㎡)を売却したため減少し、建物は、本郷ふれあい公園のトイレ設置(27.62㎡)により増加しました。

今後、土地は、本郷ふれあい公園(第二工区)の用地購入による増加、建物は旧処理施設等の解体による減少が見込まれます。